

天才なんだから、しょうがない。

あまりにも独特すぎるミュージシャン、倉地久美夫を追った
富永昌敬初の音楽ドキュメンタリー！



庭にお聴い、

倉地久美夫 / 菊地成孔 / 外山明 / 岸野雄一 / 石橋英子 / 田口史人

◆企画・製作=Fontana Mix ◆プロデューサー=須川善行 ◆ミキシング=天野音響技術研究所 ◆整音=山本タカアキ
監督・撮影・編集=富永昌敬 (『乱暴と待機』『ハンドラの塵』) ◆配給・宣伝=SPOTTED PRODUCTIONS ◆宣伝協力=アルシネテラン
◆イメージイラスト=高浜寛 ◆2010年/カラー/DV/78分 ◆©2010 Fontana Mix

<http://niwanionegai.heteml.jp/> ◆ <http://www.twitter.com/niwanionegai>

その謎を探れば探るほどに、美しき迷宮が見えてくる——。 異能ミュージシャン・倉地久美夫の世界。



男の名前は倉地久美夫——。

かつて体験したことのない歌声とメロディ、ことば、そして不可思議なギターの色。

これはいったい何だ?と考えているうちに誰もが夢と現実の間を行き来するような底知れぬ世界に惹き込まれてしまうはずだ。そんな倉地のパフォーマンスに魅せられて、菊地成孔、相対性理論のPVでも知られる映画監督・富永昌敬が、その音楽の秘密に迫るべく何と初のドキュメンタリー作品に挑戦!

プロデューサーとインタビュアーを務める元「ユリイカ」編集長の須川善行と共に、貴重なライブ映像や資料映像を掘り起こし、東京から九州まで関係者や倉地本人のインタビューに奔走する。ルーツを探れば探るほどに魅力と謎は膨らむばかり…。

あなたの価値観を揺るがすジャンル特定不可能な倉地ワールドをこの機会にご堪能ください!

【倉地久美夫プロフィール】1964年、福岡県朝倉市生まれ。高校時代から多重録音による音楽製作を始める。83年に上京し、混声合唱団や身体パフォーマンスのイベント、映像・ダンスとのセッションなどに参加。86年より弾き語りを始め、97年には自身のグループ「アジャ・クレヨンズ」を結成。91年、福岡へ帰郷、東京と福岡の2都市を足場に音楽活動を続ける。多数のミュージシャンと共演しているが、特に90年代半ばから断続的に続けている菊地成孔、外山明とのトリオには定評がある。02年、第2回「詩のボクシング」全国大会で優勝。「スーパーちとせ」(07)など5枚のアルバムを発表している。



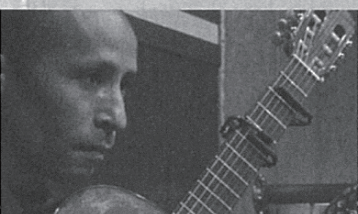
「僕の人生でも何人かは、確実に天才だ、とにかく天才なんだからしょうがないって、いうレベルの人が現れるんだけど、倉地くんはその何人か目だったんですよね」
—— 菊地成孔(ミュージシャン)

集まれ! 早めに!

「ある日、『僕の音楽にこんなにツマミが必要だろうか?』って思って、シンセサイザー3台くらいもってたのを売っばらって、ギターを買ったんだそうです」
—— 岸野雄一(勉強家)



「異様だとか異質だってことが誰から見てもわかるってことは、やっぱり大衆性だと思うんですよね。誰から見てもへんってことは、みんなにわかるってことじゃないですか。それはやっぱり大衆性だと思いますよ」
—— 田口史人(「円盤」店主)



すきっ腹で 朗報 待ってるよ
初日の出だ イーイー
「ライブ中に人の音楽を聴いて泣くことはないんですけど、その時は自分の中の端っこのことばにできてない部分っていうのをまさに表現されてると思うって、それでわけもわからず涙が出てきたんです」
—— 石橋英子(ミュージシャン)




庭にお願い たぶん住み着いた野いちごに遠慮してるんですよ

- ◆撮影・編集・監督=富永昌敬
- ◆出演=倉地久美夫/菊地成孔/外山明/石橋英子/岸野雄一/田口史人/須川善行ほか
- ◆ライブ撮影=月永雄太/熊倉良徳 ◆整音=山本タカアキ ◆オンライン編集=田巻源太
- ◆ミキシング=天野音響技術研究所 ◆映像提供=RKB毎日放送
- ◆企画・製作=Fontana Mix
- ◆プロデューサー=須川善行 ◆配給・宣伝=SPOTTED PRODUCTIONS

うかうかしてたら 八百万の庭にお願い

一夜限りの岩手上映、遂に開催!!

日程:5月19日(日曜)
会場:もりおか町家物語館 浜藤ホール
開場19時 上映開始19時半 料金1500円
予約はメール/電話で受付中。
cadisc@icloud.com 090-5186-0028(村上)

 @MurakamiKyoju
 <http://cadisc.main.jp/>

